

第35回 山口市中心市街地活性化協議会（報告）

1. 日 時 平成30年5月8日（火）14:00～15:00
2. 場 所 山口商工会議所5階コミュニティホール
3. 出席者 26名
4. 内 容
河野会長から挨拶の後、議事に入る。

【審議事項】

- 1号議案 平成29年度事業報告並びに収支決算報告について
事務局から資料に基づき、平成29年度事業報告・収支決算について報告。
監査について原田監事より報告。
～異議なく承認～
- 2号議案 平成30年度事業計画並びに収支予算（案）について
事務局から資料に基づき、平成30年度事業計画・収支予算案について説明。
～異議なく承認～※今年度も各団体より負担金を徴収しない。

【報告事項】

- 第2期中心市街地活性化基本計画の進捗状況について
- (1) 基本計画のフォローアップに関する報告について
山口市より資料に基づき説明。
「商店街等通行量（休日）」については、目標値58,000人に対して最新値は54,798人となっており、現時点では目標達成には至っていない状況にあるが、平成28年度と比較すると約3,800人の増加。この要因は、第2期基本計画にある「中市町1番地区優良建築物等整備事業」や民間主体で共同住宅が建設され、供給が順調に進んでいることが寄与されていると考えられる。今後も目標達成に向けて、中心市街地内の道路の拡幅やバリアフリー化、中心商店街での回遊を促すイベント等のさらなる充実に向け取り組むことが必要。
「商店街の空き店舗数」については、目標値30店舗に対して、最新値35店舗であり、現時点では目標達成には至っていない状況にあるが、今後も継続的に「あきないのまち支援事業」の周知啓発を図るとともに、堅調に推移している新規開業希望の相談を出店に繋げ、目標達成に向け取り組む。
「居住人口の社会増減（5年間の総数）」については、目標値250人増に対して、最新値382増となり目標達成。要因としては共同住宅の供給が進んだためと推察される。
※平成29年度の取り組み等に対する中心市街地活性化協議会の意見については、記載の内容で異議なく承認された。
- (2) 住宅市街地総合整備事業
山口市より資料に基づき説明。

密集市街地において、老朽住宅等の建替えと公共施設の整備を促進し、住環境改善、防災性の向上等を図るため、住宅市街地の再生・整備を総合的に行う事業。平成 29 年度は、6 月に市住宅市街地整備推進協議会を開催、相物小路の 4 地権者への事業概要説及び意向確認、地蔵通りの道路線形確定に向けた全地権者への聞き取り調査、OS ビルの除却工事を実施。

(3) 山口駅周辺地区バリアフリー基本構想事業について

山口市より資料に基づき説明。

平成 21 年 6 月に策定した「山口市バリアフリー基本構想」で、新山口駅周辺地区に次ぐ候補地区として、山口駅周辺地区が位置づけられた。①山口駅と中心とした一体的なバリアフリー化の推進。②駅通り及び商店街アーケードを軸として、中心市街地のにぎわいづくりに貢献するバリアフリーの回遊空間づくりの推進。③多様な人々の協働による心のバリアフリーの推進を基本方針に実施・検討していく。平成 29 年度は、建築物に関する特定事業計画の策定、都市公園に関する特定事業計画の策定、道路や交通安全に関する特定事業計画の策定に向けた関係者協議を実施。今後は中活協議会に検討部会を新設し事業を行っていく。

(4) あきないまち支援事業について

弘中タウンマネージャーより資料に基づき説明。

平成 29 年度末の空き店舗数は 35 店舗。中活 2 期計画の最終目標は 30 店舗であり、引き続き目標達成に向けて取り組む。

(5) 黄金町地区第一種市街地再開発事業について

再開発組合の北條理事長より資料に基づき説明。

道場門前大駐車場や隣接地の所有者が、土地を協同化し、新たに協同住宅・駐車場・公益施設・商業施設及び防災施設等の整備を行うため、平成 26 年 7 月に山口市黄金町地区再開発準備組合が組織された。平成 29 年度は、権利変換計画認可申請書を県知事に提出し、県知事認可を取得。平成 32 年 2 月竣工に向け、今年 2 月から建物の除却開始。竣工予定日に伴い、中活計画も 1 年延長することがほぼ決定。

以上